

## 2010年メディカルルールの変更点

2010年、ルール講習会で大きく変わった点です！！

### 変更点

筋ケイレンで、メディカルタイムアウトを要求することはできない。

ただし、

1. プレーヤーはエンド交代時またはセットブレイクの時間内に限り、1試合に最大2回までのメディカルトリートメントを受けることができる。
2. トレーナーまたはドクターが、熱中症に伴って筋ケイレンも発症したと判断した場合に限り、熱中症の処置の中で筋ケイレンの処置を受けることができる。
3. 深刻な筋ケイレンによってプレーが全く出来ないとトレーナーまたはドクターが判断した場合、プレーヤーは次のエンド交代時またはセットブレイクまでのポイントおよびゲームを没収され、直ちに、定められた時間内（90秒または120秒）で、筋ケイレンの診察と処置を受けることができる。
4. このルールの適応に関して、プレーヤーが駆け引きをしたと判断した場合、チェアアンパイア、ロービングアンパイア、レフェリーは、スポーツマンシップに反する行為としてコードバイオレーションを科すことができる。